

安全データシート

作成:2002年 1月15日

改訂:2023年 7月28日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KI035-04
製品名 : ファルコンフロアブル
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期 (急性) : 区分2
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: なし

危険有害性情報

- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

・環境への放出を避けること。

【応急処置】

・漏出物を回収すること。

【廃棄】

・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

1-tert-ブチル-1-(3,5-ジメチルベンゾイル)-2-(3-メトキシ-2-メチルベンゾイル)
ヒドラジン／一般名：メキシフェノジド

成分及び含有量：	メキシフェノジド	20.0%
<その他>	プロピレングリコール	8.0%
	リグニンスルホン酸ナトリウム	2.0%

官報公示整理番号：	化審法 (2)-234	プロピレングリコール
	(8)-209	リグニンスルホン酸ナトリウム
	安衛法 4-(7)-2520	メキシフェノジド

CAS No.:	161050-58-4	/	メキシフェノジド
	57-55-6	/	プロピレングリコール
	8061-51-6	/	リグニンスルホン酸ナトリウム

4. 応急措置

一般的アドバイス：

ばく露する可能性がある場合は、第8項の保護具の情報を参照。

吸入した場合：

新鮮な空気の場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。
マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具(ポケットマスクなど)を使用する。
中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

皮膚に付着した場合：

汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で15~20分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

眼に入った場合：

眼を開いたまま 15～20 分水道でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5 分洗顔してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

飲み込んだ場合：

緊急医療措置は必要ない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：

上記の応急措置の記述、下記の緊急治療及び必要とされる特別処置の指示に記載されている情報に加えて、重要な症状や影響は項目 11 の有害性情報に記載されている。

緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

医師に対する特別な注意事項：

特別な解毒剤はない。ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

この物質は不燃性である。別の発火源による火災にさらされた時は、その火災に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤：データなし

特有の危険有害性

有害燃焼副産物：

火災の場合、この製品の一部の成分が分解する可能性がある。煙は、特定されていない毒性や刺激性のある化合物を含有することがある。燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない：窒素酸化物。一酸化炭素。二酸化炭素。

異常な火災および爆発の危険：

他の引火源による火災に暴露して水分が蒸発し、高温にさらされると、有毒ヒュームが発生することがある。

消防士へのアドバイス

消火手順：

人々を避難させる。火を隔離して関係者以外の立ち入りを禁止する。この物質は不燃性である。他の燃えている物質の消火にあたる。可能なら消防水の流出を防ぐ。消防水の流出を防げないと環境破壊を引き起こす可能性がある。本 SDS の「漏出時の措置」および「環境影響情報」の項を参照する。

消火を行う者の保護：

陽圧式自給式呼吸器 (SCBA) および防火服 (防災ヘルメット、コート、ズボン、長靴および手袋を

含む)を着用する。保護具が入手できないか使用できないときは、保護された場所から、または安全な距離をおいて消火活動を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

場所を隔離する。不必要な人や保護具を装着していない人の、その場所への立ち入りを禁止する。項目7の取扱い注意事項を参照。適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。

環境に対する注意事項:

土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目12の環境影響情報を参照。自然の水路に漏洩するか放出されると、水生生物を殺す可能性が高い。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

可能なら、漏出物は回収する。小規模の漏洩:以下の物質で吸収させる:粘土。泥。砂。掃き取る。正しくラベルの貼ってある適切な容器に回収する。大規模の漏洩:清掃サポートについては、弊社にお問い合わせください。追加情報として、項目13の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

子供の手の届かないところに置くこと。飲み込まない。眼、皮膚、衣服との接触を避ける。蒸気またはミストの吸入を避ける。取り扱った後は十分に洗うこと。容器を閉じて保管すること。使用時には換気を十分に確保する。項目8のばく露防止及び保護措置を参照。

保管:

乾燥した場所に保管すること。納品時の容器でのみ保管する。使用していないときは、容器の蓋をしっかりと閉めること。食品、食材、医薬、飲料水の近くに保管しない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:メキシフェノジド(Respirable Fraction) 3 mg/ m³ (TWA)(ダウ社内ガイドライン)

メキシフェノジド(吸入性画分) 10 mg/ m³ (TWA)(ダウ社内ガイドライン)

許容濃度:プロピレングリコール 10 mg/ m³ (TWA)(米国産業衛生協会WEEL)

製造、混合作業、および包装作業に従事する労働者に対する推奨。散布作業者及び取扱者はラベルを読み、適切な防護具および防除服を装着すること。

曝露防止

工学的制御:

空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具：

許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

以下は効果的なる過式呼吸用保護具の種類である：防塵フィルター付き有機ガス用

手の保護具：

長時間または何度も繰り返し接触する可能性がある場合は、この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム（ニトリルまたはNBR）。ポリ塩化ビニル（PVC またはビニル）。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するときは、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具：

安全メガネ（サイドシールド付）を着用する。

皮膚及び身体の保護具：

清潔で、長袖の、全身を覆う衣服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 淡褐色水和性粘稠懸濁液体
臭い	: 淡い
pH	: 7.07 1%
融点/範囲	: 462.0 K
凝固点	: データなし
沸点 (760mmHg)	: 693 °C
引火点	: データなし
蒸発速度 (ブチルアセテート=1)	: データなし
可燃性 (固体、気体)	: 非該当
自然発火点	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界 / 可燃範囲	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対蒸気密度 (空気=1)	: データなし
比重・相対密度 (水=1)	: 1.058 (20°C)
水溶性	: 3.3 mg/l (20°C)

密度及び／又は相対密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし
爆発特性	: 非該当
酸化特性	: 5°Cを超える顕著な温度上昇なし。
液体密度	: 1.168 g/ml (25°C)
分子量	: データなし

注記: 上記の物理データは、代表値であり、仕様として解釈されるべきものではない。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 安定している。
危険有害反応可能性	: 重合は起こらない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 知見なし。
危険有害な分解生成物	: 分解しない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口):

誤飲した場合でも、毒性は非常に低い。少量を誤飲しても有害な影響があるとは予見されない。

製品として。単回経口投与のLD₅₀のデータなし。成分の情報による:

ラット LD₅₀ > 5,000 mg/kg 推定値。

急性毒性(経皮):

長時間の皮膚接触で、有害量を吸収することはないであろう。

製品として。経皮 LD₅₀は決定されていない。成分の情報による:

ラット LD₅₀ > 5,000 mg/kg 推定値。

急性毒性(吸入):

長期間、ミストに過剰暴露すると有害影響を起こすことがある。過剰暴露すると、上気道(鼻と喉)

に刺激作用を来すことがある。
製品として LC₅₀ は決められていない。

皮膚腐食性／刺激性：

短時間接触では、本質的に皮膚刺激性がない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：

軽度に眼を刺激することがある。
角膜損傷は起こらないであろう。

呼吸器感作性：

関連のあるデータは得られていない。

皮膚感作性：

有効成分について：モルモットでのテストでは皮膚アレルギー反応はなかった。

生殖細胞変異原性：

有効成分について：*in vitro*での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

発がん性：

有効成分について：動物試験では発がん性はなかった。

生殖毒性：

有効成分について：動物試験では、生殖を阻害しなかった。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：

使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性(単回ばく露)を示さない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：

有効成分について：メトヘモグロビン血症を起こし、血液の酸素運搬能力が損なわれることがある。
動物では、以下の臓器に影響することが報告されている：血液。腎臓。肝臓。甲状腺。

誤えん有害性：

物性上、誤えん有害性は低い。

催奇形性:

有効成分について:動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

毒性分析に影響を与えるコンポーネント:

メキシフェノジド

急性毒性(吸入)

粉塵への単回ばく露による有害作用はないと考えられる。長期間粉塵に過剰暴露すると、有害影響を起こすことがある。入手可能なデータによると、麻酔作用は見られなかった。入手可能なデータによると、呼吸器への刺激は見られなかった。

到達可能な最高濃度。ラット LC₅₀ > 4.3 mg/l (4時間)粉じん/ミスト この濃度では死に至らない。

プロピレングリコール

急性毒性(吸入)

ミストは上気道(鼻と喉)を刺激することがある。ウサギ LC₅₀ 317.042 mg/l (2時間)粉じん/ミスト この濃度では死に至らない。

リグニンスルホン酸ナトリウム

急性毒性(吸入)

長期間粉塵に過剰暴露すると、有害影響を起こすことがある。粉塵は上部呼吸器官(鼻や喉)を刺激するかもしれない。

LC₅₀は決められていない。

その他の成分

急性毒性(吸入)

LC₅₀は決められていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

甲殻類

成分の情報による:

物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す(試験した種のうち最も感受性の高い種ではLC₅₀/EC₅₀ 1~10 mg/L)。

成分の情報による:

ユスリカ類 $EC_{50} > 1 - 10 \text{ mg/l}$ (48時間) 推定値。

製品として。

オオミジンコ $EC_{50} 160 \text{ mg/l}$ (48時間)

残留性・分解性

メキシフェノジド

生分解性: 生分解率は、順化により、土壌や水中で高くなるだろう。

水中での安定性(半減期)

802 d, pH7, 半減期温度 25 °C

プロピレングリコール

生分解性: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。生分解は、嫌気的条件(無酸素)で起こるかもしれない。

10-day Window: 合格

生分解: 81 %

曝露時間: 28 d

方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの

10-day Window: 非該当

生分解: 96 %

曝露時間: 64 d

方法: OECD テストガイドライン 306 あるいは同等のもの

理論酸素要求量: 1.68 mg/mg

化学的酸素要求量: 1.53 mg/mg

生物学的酸素要求量(BOD)

培養時間	BOD
5 d	69.000 %
10 d	70.000 %
20 d	86.000 %

光分解性

大気中半減期: 10 h

方法: 推定値。

リグニンスルホン酸ナトリウム

生分解性: 関連のある情報は得られていない。

理論酸素要求量: 1.53 mg/mg 計算値.

光分解性

大気中半減期: 0.098 d

方法: 推定値。

その他の成分

生分解性: 関連のあるデータは得られていない。

生体蓄積性

メキシフェノジド

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は中程度。(BCF: 100-3,000、Log Pow: 3-5)

n-オクタノール/水分配係数(log 値)(log Pow): 3.72(25°C) OECD テストガイドライン 107 あるいは同等のもの

生物濃縮因子(BCF): 11.0 魚類 28 d 測定値

プロピレングリコール

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

n-オクタノール/水分配係数(log 値)(log Pow): -1.07 測定値

生物濃縮因子(BCF): 0.09 推定値。

リグニンスルホン酸ナトリウム

生体蓄積性: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF < 100 または Log Pow < 3)

n-オクタノール/水分配係数(log 値)(log Pow): -3.45 推定値。

生物濃縮因子(BCF): 3.2 魚類

その他の成分

生体蓄積性: 関連のあるデータは得られていない。

土壤中の移動性

メキシフェノジド

土壤中移動性が中程度である(K_{oc} 150~500)。

プロピレングリコール

ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。

土壤中移動性がきわめて大きい(K_{oc} 0~50)。

分配係数(K_{oc}): < 1 推定値。

リグニンスルホン酸ナトリウム

土壤中移動性は比較的小さいと考えられる。(K_{oc} > 5,000)

分配係数(K_{oc}): > 99,999 推定値。

その他の成分

関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性

メキシフェノジド

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

プロピレングリコール

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

リグニンスルホン酸ナトリウム

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

その他の成分

この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響

メキシフェノジド

この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

プロピレングリコール

この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難

分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

リグニンスルホン酸ナトリウム

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

その他の成分

この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

その他: 桑に付着するおそれのある地域では使用しない等、注意が必要。

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 : 3082(環境有害物質、液体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの該当法律に従う。

緊急時応急措置指針 : 171 (低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第20676号 (コルテバ・ジャパン(株))

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: 第二種指定化学物質 807号 メキシフェノジド

毒物劇物取締法 : 非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
5) コルテバ・ジャパン(株) ファルコンフロアブル 安全データシート
(2023年3月3日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。